

呼吸器外科 初期研修プログラム

必ず習得するアウトカム

1. 呼吸器外科で扱う主要疾患の診断・評価・治療方針について説明できる.
2. 呼吸器外科診療に必要な検査・外科的手技を指導医のもと実施できる.
3. 呼吸器外科救急症例に対する初期評価・対応が可能となる.

研修目的

1. 呼吸器外科疾患の診断・評価・治療までの一貫した流れを学ぶ.
2. 呼吸器外科疾患の診断・治療のための基本的技術を身につける.

研修目標

◇ 一般目標

- ・ 医師としての礼儀・考え方・行動を身につけ診療で実践できるようになる.
- ・ 呼吸器外科疾患についての知識・診断・治療手段について学び、緊急事態に対応できる対応能力を習得する.
- ・ 特に担癌患者の心理を理解し緩和医療等の必要な医療を提供できる.

◇ 行動目標

- ・ 入院患者の診療を行い、患者とのコミュニケーションをはかれるようになる.
- ・ 救急患者の診療を行い、応急処置ができる.
- ・ 各種検査の原理・目的を理解し、適切な検査のオーダーならびに検査結果の評価ができるようになる.

画像検査：レントゲン・CT・MRI・PET-CT

生理検査：心電図・呼吸機能検査・心臓超音波検査

一般検査：採血検査・尿検査・細菌検査・抗酸菌検査

その他：気管支鏡検査など

- ・ 外科手術・処置の適応を理解し正確かつ迅速にできるようになる.
- 創処置・縫合・抜糸・胸腔穿刺・胸腔ドレナージ・中心静脈カテーテル留置
- ・ 各種手術に術者・助手として参加できる技術を習得する.

◇ 研修期間中に経験可能な疾患・疾病、および手技

- ・ 気胸：30 例
- ・ 肺癌：30-40 例
- ・ 縦隔腫瘍：2-3 例
- ・ 胸部外傷：5-6 例
- ・ 胸腔ドレナージ：5-10 例
- ・ 動脈穿刺・動脈ライン留置：50 例

研修方略

- ・ 指導医に同行し日々の臨床で習得する.
- ・ 各種ガイドラインや文献にて自己学習する.

研修評価

- ・ 点滴・縫合等の実技項目については研修期間内の実習中に評価を行う.
- ・ 医療面接法・診察手技については研修後半に観察評価を行う.
- ・ 1例の症例で病歴・診断・治療の流れについて考察も含めたレポートを提出してもらう.

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	回診・病棟	病棟 気管支鏡検査	回診
火	回診・病棟 手術	手術 病棟	呼吸器カンファランス 術前カンファランス
水	手術 回診・病棟	手術 病棟	回診
木	回診・病棟	病棟	回診
金	回診・病棟 手術	手術 病棟	回診

指導責任者および指導医

指導責任者： 田畑俊治
指導医： 菅原崇史
 〃 ： 石橋直也
 〃 ： 三友英紀
 〃 ： 小柳 彰

学生（4~6年生）や他科研修中研修医のカンファレンスの参加の可否
参加可

研修医発表会，学会発表に対する指導体制

研修医発表会での発表ができるように指導する.
意欲がある研修医は地方会ならびに全国学会での症例発表の指導も可能である.

同時期に受け入れ可能研修医数（1クール：3ヶ月）

1名/1クール

当科では特定看護師の研修指導も行っているため，時期については相談必要.